

当SCが「ショッパー」で大きく取り上げられました

「働いてもっと元気にいきいきシア、活躍中！」日野・八王子エリアで毎週18万部が宅配される地域新聞「ショッパー」の9月20日号では、第一面のトップ記事にこんな見出しが躍っています。記事は日野市シルバー人材センター（SC）の活動を取り上げたもので、外部のメディアがひとつのSCにスポットライトを当てて大きく報じるのはきわめて異例です。

週一回の地域新聞「ショッパー」（8ページ、ショッパー社発行）は、暮らし情報などを発信するフリーペーパー（無料紙）として各地で発行されています。

今回は「元気なシア」をテーマにした同紙企画の対象として、ことし設立40周年を迎えた当SCが選ばれたもので、9月初め



第150号
令和元年10月15日
発行：公益社団法人
日野市シルバー
人材センター
編集：広報委員会
日野市日野本町2-4-7
Tel: 042-581-8171



会員数(人)
令和元年8月31日
計 1,679
男性 1,197
女性 482
8月入会者16
(男9、女7)
8月退会者10
(男3、女7)

に同紙八王子支社の女性レポーターが取材で当SCを訪れ、増子和男事務局長が応対しました。

記事は「現役時代のように、毎日バリバリとはいかないけれど、働く喜びが感じられる」など、3年前のSC会員アンケートの声を伝えながら、センターの概要や会員の入会から就業までの流れ、公益法人の会員として多様な就業のほか



にボランティア活動で地域社会に貢献する様子を詳しく紹介。

仕事風景として、多摩動物公園の餌作りと刃物研ぎの2枚の写真も添えられ、記事の最後は増子局長の「自分が暮らす街のニーズに応えて働くことができるのがシルバー人材センターの特徴。これまでの知識や経験を、ぜひ地域のために生かしてほしいですね」という言葉で締めくくられています。

「ショッパー」9月20日号は、事務局で見ることができません。



取材を受ける増子事務局長

まちづくりの市民フェア

2019

日野市内の市民活動団体が一堂に集まり、市民の皆さんと交流する「まちづくり市民フェア2019」が10月20日(日)午前10時から午後3時まで市民の森ふれあいホールや蚕糸公園を会場に開かれます。

今年の市民フェアのコンセプトは、SDGs(持続可能な開発目標)。SDGsって何?みんなで作る持続可能な未来、まずは知ることから始めましょう。

59団体約60ブースでの展示・販売や活動発表などが行われ、屋外では模擬店の飲食販売もあります。

当SCからは広報委員会が参加し、会場内のブースを拠点に来場者にセンター資料を配るなどの広報活動を行います。当SCのフェア参加は今回で4回目となります。

共働・共助

配分金の支払日

- 10月18日(金)
- 11月20日(水)
- 12月20日(金)
- 1月20日(月)
- 2月20日(木)
- 3月19日(木)

19名が参加、質疑応答活発に

第15回女性限定入会案内説明会

女性委員会主催の女性限定入会案内説明会が9月20日(金)午前、当センター会議室で開かれました。

説明会は今回が15回目。好天にも恵まれて、参加者は計19名と期待以上に多くの方々が来場されました。

冒頭、渋谷善子委員長がなぜ「女性限定」なのかに触れて「シルバー人材センターは女性だからこそできる」といった仕事も少なくありません。また女性同士だと質問もしやすいメリットがあります」と、例を挙げながら語りかけました。

次いで、増子和男事務局長から当センターの概要や会員の就業状況、さらに会員事故が多発していることを踏まえた安全就業の重要性などについて説明がありました。

この後は恒例の女性会員による就業体験談。今回は小学校の校舎管理に就いている会員が話しました。男性2人と計3人のローテーションで、朝夕2回、学校に向きますが、しっかりとマニュアルがあり、子供たちと挨拶を交わすなど

のふれあいもあって楽しく仕事をこなしている、といった内容。参加した方々は具体的な就業の様子に、熱心に耳を傾けていました。

体験談の後は、参加者が3つのグループに分かれ、それぞれに女性委員会委員、事務局職員が加わっての二問一答。フリートーク形式での活発な質疑応答に十分な手ごたえを感じとっておられた様子でした。

(女性委員会)



女性限定入会案内説明会の様子(第13回実施時)

会員事故、さらに一件

日野市SCCの今年度の会員事故がさらに一件増え、計13件(傷害10件、賠償3件)となりました。新たな事故の概要は次の通りです。

9月12日午後4時ごろ、メーカーのグラウンドで清掃作業中の男性会員がスズメバチに襲われ、右手ひじを刺された。痛みと腫れがひどいため、皮膚科医院で治療を受けた(傷害)。

会員事故が止まりません。事故を防ぐには『安全はすべてに優先する』に立ち返り、自分の身は自分で守るという心構えが何より大事です。

就業に際しては、当SCCの『安全心得10カ条』(本紙前号1149号IIに掲載)を順守してください。

事務局からのお知らせ

【配分金について】

消費税を適正に転嫁するため配分金の計算方法については、現在の消費税込みで設定している配分金額から消費税(8%)抜きの本体金額を算出し、その税抜きの本体金額に消費税率10%を乗じて得た額が配分金額となります。

理事会ニュース

★第6回理事会 9月30日

- ・審議事項Ⅱ正会員の入会(19人承認、10月1日19人入会)、職員退職金支給規定改定の件
- ・報告事項Ⅱ令和元年度事業実績(4~8月分)Ⅱ2億8564万円(前年度比5.2%増)、
- 同予算執行状況

・協議事項Ⅱ消費税率引き上げに伴う消費税を配分金と価格に適正に転嫁する件(本号「事務局からのお知らせ」を参照)

★経営企画会議 9月19日

議題Ⅱ当SCC会員の退会状況調査(退会理由の分析など)、前期地域班会議の要回答事項について、他

センター行事

◆全地域班一斉清掃

10月20日(日)

◆女性会員交流会 11月5日(火)

13時30分~15時30分、

七生福祉センター(七生公会堂1階)『誤嚥防止』の講演、簡単脳トレ他

事務局職員異動

退職Ⅱ生田宏造(9月30日)

(3面に関連記事)

帰任Ⅱ長谷川昂(10月1日)

日野市SCを支えて33年

事務局長代理などを歴任 生田宏造さん

当SC事務局の職員として長い間活躍された事務局長代理の生田宏造さんが、本年9月をもって退職されました。生田さんに在職33年余の思い出を振り返っていたきました。

◇ ◇ ◇

昭和61年2月1日。確か雪が舞う寒い日でした。4月の正規採用を前に、臨時職員として初出勤です。この日は土曜日で、今は懐かしい半ドン。日野市生活・保健センター建設前の更地にポツンとあった、2階建てのプレハブが、当時のシルバー人材センター(正式名称:社団法人シルバー人材センター)日野市高齢者事業団)事務局。ここから社会人生活がスタートしました。

当時の会員数は約750名で地域班は28班体制、年間の事業実績は3億円程度でした。事務処理も極めてアナログで、パソコン(辛うじてワープロはありました)も導入されておらず、基本は手作業。配分金は現金で支払い、その計算書類も手書き。毎月の支払額を二日前までに銀行へ連絡。支払日の

朝一番で取りに行き、事務局の会議室で袋詰め。その日の午後から印鑑持参で一人ひとりに支払いしました。昼休みに取りに来る人、就業帰りに取りに来る人、中には事情によつて数日後に取りに来る人とさまざままで、即日全員にお渡しできません。金庫で相当額を保管しながら支払う状況でした。



執務中の生田さん

また、事務局職員は8名。朝は職員全員で事務所を清掃して一日をスタートし、1階の作業場では襖・障子の張り替え作業、2階の会議室では絵画教室や小・中学生の補習教室を行っていました。その後、生活・保健センターの建設が始まるため、事務局は3月に中央

福祉センターの一角に移転。その後昭和63年に生活・保健センター2階の会議室に移転しました。

昭和から平成へと時代は移り、この頃やつと事務局のOA化が始まり、配分金の支払いも郵便局口座への振込となりました。そして、平成4年に現在の事務局が完成、移転しました。

組織としては、平成2年に全国的に名称を統一することとなり、社団法人日野市シルバー人材センターになりました。当時は理事15名と監事2名で、全員が会員からの選出でした。平成23年の公益法人化で、より厳正かつ適正な運営が求められることから、特別会員を含めた現行の体制になっています。

私の33年余の在職期間において一番の思い出は、平成21年からの3年間に実施された、市民の方へ家具転倒防止器具の配布及び取付の業務を日野市から受注し、その担当者になったことです。業務開始時は、市内約4000件が対象でしたが、最終年度開始直前に東日本大震災が発生。最終年として1000件余の実施を残す状況でしたが、急きよ希望者全員に配布・取付が実施されることになり申請が殺到。最終的には当初

予定数の8倍、約8000件にまで膨らみました。各ご家庭に訪問しての業務になりますので、申請した方に合わせて動かなければなりません。土日や祝日はもちろん、朝も夜も関係ありませんでした。配布日や器具の直前の変更も数知れず、その度に再調整です。この年は夏休みも1日しか取れず、もう無我夢中でしたが、この業務に携わった全会員の協力があつて、総額1億円を超えるこの業務を大過なく履行することができました。その結果、平成23年度の事業実績が当センター歴代最高となり、全国約1200のSCの中で最高の伸び率を記録することができました。

このように、会員のみなさんともにも歩んだ年月は千金の思い出です。退職後は、郷里の高知で新たな生活をスタートします。役職員を含むみなさんのこれまでのご厚情に感謝し、センターの益々のご発展を祈念するとともに、これまで広げた縁を大切にしたいと思えます。そしてこれから新たに広がるであろう縁を楽しみに、ワクワクしながら人生を送ってまいります。

長きにわたり、本当にありがとうございました。



コース試走中の様子

8月末で締め切ったランナー応募状況は、男性47名、女性18名で、計65名になりました。このうち、11名は小中学生です。
去る9月29日に、炎トーチ機材を積んだ炎車、看護師が乗る救護車、写真を撮る撮影車による試走を行いました。車道は一般車が走行している訳ですから、歩道を走

ランナー65人に

「炎トーチ機材を積んだ炎車、看護師が乗る救護車、写真を撮る撮影車による試走を行いました。車道は一般車が走行している訳ですから、歩道を走



応援よろしく！「日野ぎずな炎リレー」

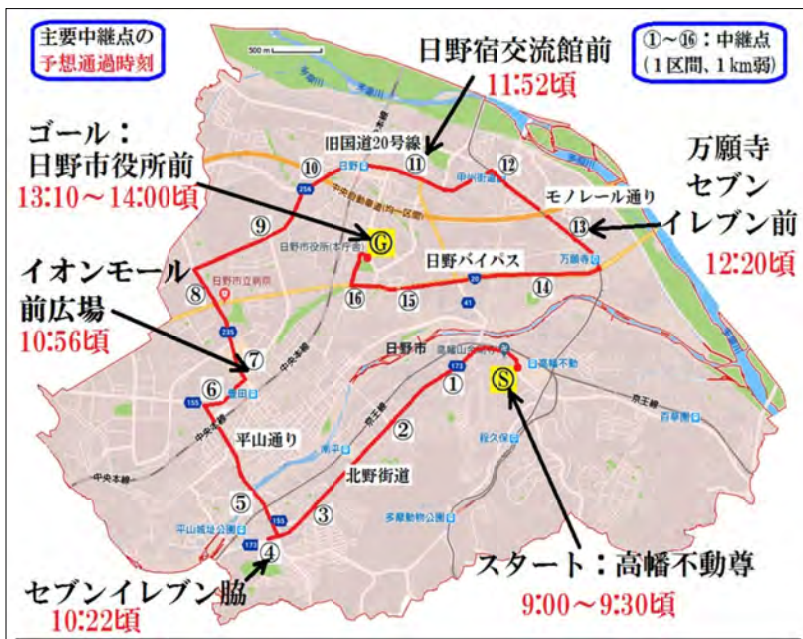
当SC後援

さわやか6月15日号、9月15日号に「日野ぎずな炎リレー」の企画経緯、ランナー募集経過等を掲載させていただきました。本10月15日号では、11月10日(予備日11月17日)のリレー実施に向けた直前の状況をお知らせすると同時に、皆さんに沿道応援をお願いする次第です。

今、実行委員会が作業中・準備中の事はおよそ次の通りです。(1)Tシャツのぼり旗の準備
(2)応援旗の作成
(3)各ランナーの走行区間の割り振り
(4)10月20日(日)「まちづくり市民フェア」での展示内容の準備
(5)10月26日(土)と27日(日)に行う「事前説明会」(各ランナーへのリレー区間の伝達、注意事項の徹底、Tシャツ配布等)の準備
(6)スタート、ゴール

地点でのセレモニー内容検討とその具体的準備。
日野市民の森ふれあいホールで行なわれる10月20日の市民フェアでは、実行委員はTシャツを着て、また応援旗を配布してPRに努めるつもりです。リレー走路は図の通りですが、これに主要点の通過予想時刻も載せました。応援・声援のほど、よろしくお願ひ申し上げます。
(三沢2班 岡田寛)

今、実行委員会
が作業中・準備中
の事はおよそ次の
通りです。(1)Tシャ
ツのぼり旗の準備
(2)応援旗の作成
(3)各ランナーの走
行区間の割り振り
(4)10月20日(日)
「まちづくり市民フェ
ア」での展示内容の
準備 (5)10月26日
(土)と27日(日)に
行う「事前説明会」
(各ランナーへのリレー
区間の伝達、注意
事項の徹底、Tシャ
ツ配布等)の準備
(6)スタート、ゴール



詳細は、<http://dvd-otasukeman.jp/2020/hino-kizuna003.pdf>

日野市 お口の健康診査

対象者
日野市に住民登録のある20歳から5歳刻みの年齢の方
(20・25・30・35・40・45・50・55・60・65・70・75・80・85・90・95・100歳...)
期 間 令和元年5月1日(水)～令和2年2月29日(土)
内 容 歯周病・むし歯・入れ歯などの健康診査

受診方法
事前に指定歯科医療機関に予約をお取りください。
受診の際は、必ず健康保険証と無料受診券をご持参ください。
※対象の方には無料受診券を4月末にお送りしています。
※健診当日の治療やクリーニング(歯石除去等)はできません。

お問い合わせ 日野市健康課(日野市生活・保健センター内)
☎042-581-4111 FAX042-583-2400

5年に1度のチャンス!

無料の歯科健診を受けましょう!

お口の健康は、全身の健康と深い関係があるんだよ。

